

開催日 2011年10月12日(水) 時間 18:00～19:00

今日から実践！がんの痛みをマネジメント ～看護師編～

独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター
看護部 副看護師長 **がん性疼痛看護認定看護師** **山下 めぐみ** 看護師

薬物療法を中心とした様々ながん疼痛治療が実践されている状況において、適切な痛みの治療を提供するためには、的確に痛みの情報を捉え、アセスメントすることが重要と考えます。

患者が体験する痛みを、患者自身と医療チームのスタッフが共有するためには、患者の一番身近にいる看護師が必要な情報を系統的に収集することが必要であり、看護師にはそのためのスキルが求められます。さらに、患者自身が治療とケアに前向きに参加できるように支えることも、看護師の非常に重要な役割です。

がんの痛みを抱える患者を看る看護師には、疼痛緩和に必要なアセスメントの知識を深め、その活用方法を広げることが求められます。そして、アセスメントのスキルに習熟した看護師が多職種と協働し、治療とケアの方向性の決定に積極的に参加することで、患者のQOLの向上にも大きく貢献することができます。

今回は、“がんの痛みをマネジメントできる看護師”として修得していただきたい内容を下記の項目に沿ってお話させていただきます。

- 看護師ができる「痛みのアセスメント」
- 医療用麻薬によるがん疼痛治療法
- がん疼痛治療における副作用対策
- 患者のセルフコントロールを支えること
- 事例紹介～患者の自律性を尊重したオピオイドローテーション～

皆さん、がんの痛みのマネジメントについて一緒に学びを深めませんか？

【プロフィール】 平成10年3月 国立療養所東名古屋病院附属看護学校 卒業
平成10年4月 国立津病院(現:独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター)入職
消化器内科・一般内科病棟 所属
平成19年3月 国立看護大学校 研修部 認定看護師教育課程「がん性疼痛看護コース」修了
平成19年4月 三重中央医療センター 緩和ケアチーム 専従看護師 従事
平成19年7月 がん性疼痛看護認定看護師 認定 現在に至る

【所属学会】 日本緩和医療学会

開催場所: **三重中央医療センター 管理棟2階**
地域医療研修センター

*軽食をご用意しております